

# 第3回 実戦問題

解答・配点 (100点満点)

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	
第1問 (6)	1	1	②	2		第6問 (12)	1	24	④	3		
	2	2	①	2			2	25	⑤	3*		
	3	3	①	2				26	②			
小計								27	③			
第2問 (12)	1	4	④	3				28	①			
	2	5	①	3			3	29	②	3		
	3	6	①	3		4	30-31	④-⑤	3*			
	4	7	③	3		小計						
小計						第7問 (16)	1	32	③	3		
第3問 (9)	1	8	③	3*			2	33-34	③-④	4*		
		9	②				3	3	35	②	3	
		10	①				4	36	③	3		
		11	④				5	37	①	3		
2	12	②	3		小計							
3	13	③	3		第8問 (17)	1	38	③	3			
小計						2	39	①	3			
第4問 (12)	1	14	①	3			3	40-41	②-④	4*		
	2	15	③	3				42	①			
	3	16	②	3			4	43	④	3		
	4	17	④	3		5	44	④	4			
小計					小計							
第5問 (16)	1	18	②	3		合計						
	2	19	③	3		(注)						
	3	20	③	3		1 *は、全部正解の場合のみ点を与える。						
	4	21	⑤	2		2 - (ハイフン) でつながれた正解は、順序を問わない。						
		22	②	2								
5	23	④	3									
小計												

## 第1問

### 解答

問1-②

問2-①

問3-①

(各2点)

#### 出典

Original Material

#### 全訳

あなたは春休み中に英語を話す能力に磨きをかけることに興味を持っている高校生です。ある語学学校が主催する、発表の行い方に関する講座のウェブサイトが見つかります。

#### 発表技術講座

パーカー語学学校(PLS)は日本の学生の英語を話す能力に関する自信を養成します。1997年以来、我々はこの好評な講座を提供してきました。5日間で価値ある技術を身につけることによって、あなたの英語に磨きをかけましょう!

期日: 2024年3月25日-29日

開催地: 神奈川県 鈴木ホテル

費用: 食費、宿泊費込みで70,000円(市内バスツアーや英語のカラオケなど、夜間活動用には別途料金をお持ち願います)

#### 提供されるセミナー

◆説明: 単なる事実としての説明に留まらず、初めての論題に注意を喚起することによって聴衆をひきつけるための描写力豊かな語彙を探求します。インストラクターは英語圏の国々で出版関係の講座を教え、さまざまな雑誌の編集に携わってきた者ばかりです。5日目には学生たちはチームの形態で想像力を駆使して論題の発表を行います。賞も出ます!(注意:参加には高度の語彙力の証明となるものが必要です。)

◆表現: 視覚資料を使って伝える内容を効果的に補強するための、スライド作りを学びます。講座のインストラクターは、有名な国際ブランドの広告担当経験者たちです。3月29日に、パートナーたちと一緒に珍しい製品の紹介をすることになります。

◆脚色: 視聴者の注意を引くべく、話す言葉に合った口調や顔の表情、身振りに集中して取り組みます。最終日には学生は2チームに分かれ、対話と身振りを通じて情報を伝える競争をします。全員がアジア各地でのセールスのプロとしての経験があるインストラクターが、判定に当たります。

#### ▲出願

ステップ1: 2023年12月31日までにこちらでオンライン願書にご記入ください。

ステップ2: インストラクター1名が電話連絡を行い、あなたに適したセミナーを審査します。

ステップ3: あなたの受講セミナーが決定されます。

### 設問解説

問1  1 正解②「全てのPLSのインストラクターは 1」

- ① 海外での居住経験がある
- ② 指導以外の職歴がある
- ③ 発表コンテストの判定を経験している
- ④ 自身が外国語をマスターしている

正解は②。「説明」の第2文(Your instructors have ...)より、そのインストラクターは雑誌の編集を、「表現」の第2文(Course instructors have ...)より、そのインストラクターは広告を、「脚色」の第3文(Instructors, all of ...)より、そのインストラクターはセールスを、それぞれ経験してきた者であることがわかる。

他の選択肢については、3つの講座のインストラクター全てについていずれも明記されていない内容であるため、不正解。

問2  2 正解①「セミナーの最終日に学生は全員が 2」

- ① グループで実演する
- ② 個人の成績に対する賞を受け取る
- ③ クラスメートによる気に入った発表に票を投じる
- ④ 他のセミナーの学生が発表するのを見守る

正解は①。「説明」の第3文(On the fifth ...)からその参加者は論題の発表を、「表現」の最終文(You'll introduce unusual ...)からその参加者は珍しい製品の紹介を、「脚色」の第2文(On the final ...)からその参加者は情報を伝える競争を、それぞれグループの形態で行うことがわかる。

問3  3 正解①「セミナーへの願書提出後にどうなるか」 3

- ① セミナー決定のために評価を受ける。
- ② 電話でスピーチを行う。
- ③ セミナーの選択を提出しなければならない。
- ④ 英語の語彙レベルを試験される。

正解は①。「出願」のステップ2がこれに当たる。

他の選択肢はいずれもウェブサイトに見られない内容であり、不正解。

#### 主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

◇ descriptive ㊦ 「記述 [描写] 的な」

◇ introduce ㊦ 「…を導入する; …に新たに触れさせる」

◇ Prizes available! 「賞が得られます!」 新聞などの見出しと同様の省略が行われており、Prizes will be available! などと補うことができる。

◇ visual ㊦ 「視覚資料 [教材]」

◇ adaptation ㊦ 「脚色」

◇ dialogue ㊦ 「対話」

## 第2問

解答

問1 - ④

問2 - ①

問3 - ①

問4 - ③

(各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたは学校のディベートクラブの一員です。今度のコンテストで、あなたのチームは生徒がテクノロジーに頼り過ぎているかどうかについて議論します。アイデアを得ようと、あなたは海外の学校が行った試みについての、そこで1年間学んだ日本人の生徒によって書かれたレポートを読んでいます。

### テクノロジー制限の試み

生徒たちは電子機器に頼ることが多く、学習用の素晴らしいアプリもあります。しかし、多くの生徒がSNSを見るのに無駄に時間を使い過ぎるので、それに関して我々は何らかの対処をしたいと思っています。我々は、3月1日から3月31日までは、教室以外でのネットの使用を1日1時間だけに制限し、毎晩就寝前に成果を記録するよう生徒たちに求めました。700人ほどの生徒が登録しましたが、半数以上がすぐにやめてしまいました。これには3年生の70%近くと1年生の約30%が含まれましたが、2年生はほとんどやめませんでした。なぜ2年生は、とりわけ3年生と違ったのでしょうか。いくつかのコメント(下記)を見て、私はこの疑問に答えることができるように思います。

#### 参加者のコメント

KT: 私はネットのリサーチを手助けに宿題をすることに慣れていたので、ネットを利用する時間が限られて不安を感じました。2年生には、私のような最終学年と比べると勉強しなければというプレッシャーが少ないですね。

HH: ネットを使っていないときの方が私は頭痛が減りましたし、集中力が高まりました。それに灯りを消すとすぐに寝ついたし、学校でも前よりさわやかな気分になりました。

SR: 学校の図書室にどれだけたくさん素晴らしい本があるかに気づかずにいましたし、ネットの情報源の信頼度をチェックするのに使う時間が減りました。

MB: 私はネットを使いたくて使いたくて、落ち着きませんでした。テクノロジーなしでは何も手につきませんでした。新しく上げられたビデオを見るためにネットにつながるのを我慢するなんて1年生にはほとんど無理です。

JS: 私は2年生の友人たちといくつかの話題について議論してみたんですが、大体のことを憶えていることがわかりました。ネット経由でアイデアを得た場合には、読んだことのほとんどをすぐ忘れてしまいます。

## 設問解説

問1 ④ 正解④

「『テクノロジー制限の試み』の目的は、生徒が④ことだった」

- ① テクノロジーの恩恵を正しく理解する
- ② 健康全般を増進させる
- ③ 睡眠時間を増やす
- ④ 無駄にする時間を減らす

正解は④。第3文(However, many students ...)に「多くの生徒がSNSを見るのに無駄に時間を使い過ぎるので、それに関して我々は何らかの対処をしたい」と、この試みを行った理由が説明されている。

問2 ⑤ 正解①

「『テクノロジー制限の試み』に関する事実の1つは⑤ということである」

- ① 試みを完了した参加者は半数に満たなかった
- ② 多くの生徒は重度の電子機器依存だった
- ③ 開始に先立って生徒はアプリの削除を推奨された
- ④ それに向けた指示が一部の参加者にとって不明瞭だった

正解は①。第5文(Around 700 students ...)に、登録者のうち「半数以上がすぐにやめて」しまったと述べられている。

他の選択肢はいずれも述べられていない内容であり、不正解。

問3 ⑥ 正解①

「『テクノロジー制限の試み』に関するある参加者の意見は⑥というものである」

- ① 1年生はソーシャル・メディアから距離を置くのに苦勞する
- ② 機器のスイッチを切った直後には、それを使えないことが辛いとは感じない
- ③ 現在の教師は生徒がインターネットでリサーチすることを望む場合が多い
- ④ 信頼できないインターネットのコンテンツが非常に多い

正解は①。MBの「新しく上げられたビデオを見るためにネットにつながるのを我慢するなんて1年生にはほとんど無理です」というコメントに対応する内容となっている。

なお、SRの「ネットの情報源の信頼度をチェックするのに使う時間が減りました」というコメントは、SRが④のように感じていることをうかがわせるが、「『テクノロジー制限の試み』に関する意見」として述べられている内容ではないため、不正解。

問4 ⑦ 正解③

「筆者の疑問には⑦が答えている」

- ① HH
- ② JS
- ③ KT
- ④ MB
- ⑤ SR

正解は③。筆者の疑問とは第7文(What made the ...?)の「なぜ2年生は、とりわけ3年生と違った [=ほとんどやめなかった] のでしょうか」というもの。KTの「2年生には、私のような最終学年と比べると勉強しなければというプレッシャーが少ないですね」というコメントが、この疑問に対する1つの答となっている。

主な語句・表現

[本文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ app 図「アプリケーション」 application の略形。
- ◇ go online 「インターネットに接続する」
- ◇ sign up 「(署名して) 参加する」
- ◇ Looking at some comments (given below) 「いくつかのコメント(下記)を見て」 分詞構文。
- ◇ I'm so used to ... that limited time online made me anxious 「私は…に非常に慣れていたので、制限されたインターネット上の時間は私を不安にした」 so ... that ~ (～なほど…; 非常に…なので～) の～の部分は limited time online (S) made (V) me (O) anxious (C) という構造。
- ◇ staying offline 「インターネットに接続してなくて」 分詞構文。offline は形容詞で「オフライン [インターネットに接続されていない状態] で」という意味。
- ◇ log on 「ログイン [ログオン] する; ネットワークに接続する」
- ◇ Getting ideas from the Net 「ネットからアイデアを得て」 分詞構文。

[設問文・選択肢]

- ◇ boost 図「…を増加 [促進] する」
- ◇ struggle to - 「-するのに苦心する」
- ◇ switch ... off / switch off ... 「…のスイッチを切る」

第3問

解答

問1 - 8 ③, 9 ②, 10 ①, 11 ④ (全部正解で3点)  
 問2 - ② 問3 - ③ (各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたの英語クラブは英語キャンプ用に「クイズ競争」を作ります。アイデアを得るために、あなたはイギリスの女性が企画したものに関するブログを読んでいます。

楽しい「クイズ競争」を作ってください

英国は雨が多いことで有名ですが、去年の夏の天気の良い週末に近所の子どもたちに屋外に出てほしくて、私は「クイズ競争」を企画しました。ご自身の企画に生かすために私のアイデアをお読みください!

クイズ作成に当たって重要な段階

場所	課題	物	タブレット
----	----	---	-------

まず場所を選びます。私たちは地元の公園を使いましたが、自然保護区や他のどんな公共の施設でも良いでしょう。庭が十分に広いなら、自宅も使えるでしょう。

次に知的・肉体的課題を考えます。私たちは子どもが黄色い花を見つけたり、風船を抱えて毛布の下を這って歩いたり、といったものを含めました! 頭の体操には、ワードパズルや箸とテープを使って玩具のトラックのための橋を作る、などという工作の課題を用意しました。

第三段階は、必要なものを隠すことです。既に持っているありふれた品を見つけにくい場所に置くだけです。我々は何日か前にスワンボートを借りさえしてスタッフに我々の計画について話しました。彼らは喜んで我々に、ボートに乗れる湖中にある島で行う課題の仕込みをさせてくれました! コツは個々の課題について、どこで次の課題が見つけれられるかの手がかりを思いつくことです。書きつけることもできるし、我々のようにチームにタブレットを与えることもできます。課題ごとに、我々の子どもたちはチーム担当の大人にテレビ電話をかけて、カメラ越しに課題を行うか完了したことを証明することを求められました。それから我々は彼らに次の課題に向けてのヒントを出すか指示を与えるかして、地図を送る場合もありました。同じ課題を行う順番はさまざまでしたが、誰も最後の課題はおかしなダンスを30秒行うことだったので、この最後の課題を最初に終えたチームが競争の優勝者になりました。

選ぶべき課題は子どもたちの年齢次第です。私のクイズ競争に参加したのは年長・年少の混合チームでした。ですから13歳以上でも退屈しない、または年少のチームメイトを手助けできる課題を企画しました。

来月はハロウィーンに向けて、地元の学校で怖いことやお化けの遊びを目玉にした、お化けをテーマにしたクイズを行う予定です。私は、怖い飾りつけを買い始めたところです。

問1 8 → 9 → 10 → 11 正解 ③ → ② → ① → ④

「次の出来事 (①～④) を起きた順番に並べよ」

- ① 子どもたちがおかしなダンスを 30 秒間踊った。
- ② 子どもたちがビデオメッセージを通じて大人と連絡を取り始めた。
- ③ 女性が公園の従業員と一緒にあることの準備をした。
- ④ 女性があるテーマの飾りつけのために買い物に行った。

正解は ③ → ② → ① → ④。まず、第 4 段落第 3 文 (We even rented ...) にあるように、前年の夏のクイズ競争の数日前に公園のスタッフの協力を得て課題の準備を行ったので ③ が先頭に来る。次にクイズ競争当日の出来事の ①, ② については、同段落第 7 文 (For each challenge, ...) にあるように子どもたちは課題ごとにビデオで大人と連絡を取ったわけであるから、最初の課題を行う際に連絡を取り始めたことになる。これに対して ① の 30 秒間のダンスは、同段落最終文 (Though the same ...) にあるように最後の課題として設定されていたので ② → ① という順番で起きたことになる。④ は最終段落最終文 (I've just started ...) に書かれているが、翌月に予定されているハロウィーン向けのクイズの準備として始めたばかりのことであるから順番は最後になる。

問2 12 正解 ②

「あなたが自分自身の『クイズ競争』を作るために女性の助言に従うなら、12 べきである」

- ① 屋内の施設がある場所を選ぶ
- ② 計画を立てる際に参加者の年齢を考慮に入れる
- ③ 全ての課題を活気のある、動きを伴うものにする
- ④ 何か面白い品物を賞として用意する

正解は ②。第 5 段落第 1 文 (The challenges you ...) に「選ぶべき課題は子どもたちの年齢次第」とある。

他の選択肢のうち、① は第 2 段落 (First, pick a ...) で女性が「クイズ競争」を行ったのは「公園」だが、他に「自然保護区」、「公共の施設」、「自宅」も候補地として挙げられており、屋内の施設の必要性には特に言及されていないため不正解。③ は第 3 段落 (Next, think of ...) に上げられている知的課題や頭の体操の類には「活気のある、動きを伴うもの」という条件が当てはまるとは言えず、④ はブログに賞品についての言及がないため、いずれも不正解。

問3 13 正解 ③

「このブログから、女性は 13 とわかる」

- ① プレイヤーに他の人たちより先に物を集めるよう求めた
- ② 良い開催地を探すのに何日もかけた
- ③ 次の課題へのヒントに地図を使った
- ④ 参加した大人への指示を書きつけた

正解は ③。第 4 段落第 8 文 (Then, we told ...) に「次の課題に向けてのヒントを出すか指示を与えるかして、地図を送る場合も」あったと述べられている。

他の選択肢のうち、① は第 3 段落第 2 文 (We included kids ...) に書かれた「黄色い花を見つける」課題や第 4 段落第 2 文 (Just place household ...) で説明された「見つけにくい場所に物を隠す」課題で行われてもおかしくない要求の内容に思えるが、「他の人たちより先に物を集めるよう求めた」といった表現が実際にブログに見られるわけではないので、不正解。② はブログに言及の無い内容であり、④ は大人に関して言及があるのは第 4 段落第 7 文 (For each challenge, ...) の、チーム担当の大人が子どもからテレビ電話を受ける、というもののみなので、やはりいずれも不正解。

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ one a British woman designed 「あるイギリスの女性が企画したもの」 one は既出の可算名詞の代用となる代名詞で、ここでは a “quiz race” のこと。

[ブログ]

◇ a Fun “Quiz Race” 「楽しい『クイズ競争』」 fun は元々「楽しみ」という意味の不可算名詞だが、ここでのような「楽しい」という意味での形容詞としての用法も増えている。

◇ Read my ideas to make your own! 「自分の『クイズ競争』を作るために私のアイデアを読んでください！」 your own の直後には “quiz race” が省略されている。

◇ nature reserve 「自然保護区」

◇ kids finding yellow flowers or crawling under a blanket 「子どもが黄色い花を見つけることや毛布の下を這うこと」 or によってつながれた finding, crawling は動名詞で、kids はそれらの意味上の主語を示している。

◇ while holding balloons 「風船を抱えながら」 副詞節の while they [= the kids] are holding balloons の they are が省略されているとも、分詞構文の holding balloons に接続詞の while が添えられることで意味が明確化されているとも取れる。

◇ construction 図 「組み立て；工作」

◇ Just place household things you already own somewhere difficult to find. 「既に持っているありふれた物を見つけにくいところへ置きなさい」 you already own は形容詞節として household things を修飾しており、直前には関係代名詞の which または that を補うことができる。somewhere は副詞として place を修飾しているが、一方では名詞的に扱われて形容詞句の difficult to find によって修飾されている。

◇ our kids had to video-call the adult responsible for their team and either do their challenge on camera or prove that ... 「我々の子どもたちは、チームに責任を持つ大人にテレビ電話をかけて、カメラ越しに課題を行うか…を証明するかをしなければならなかった」 had to に続く video-call と either do ... or prove が and によってつながれている。video-call は、ここでは「…にテレビ電話をかける」という意味の他動詞として用いられている。

[設問文・選択肢]

◇ when planning 「計画する際に」 副詞節の when you are planning の you are が省略されているとも、分詞構文の planning に接続詞の when が添えられることで意味が明確化されているとも取れる。

第4問

解答

問1 - ①

問2 - ③

問3 - ②

問4 - ④

(各3点)

出典

Original Material

全訳

英語の授業であなたは関心のあるIT問題についてのエッセイを書いています。これが最も新しい草稿です。あなたは今、先生からのコメントに基づいて、修正に取り組んでいます。

画像生成 AI は適切に用いるべきだ

近年、人工知能 (AI) が急速に発達してきました。AI は、音楽を生成したり、外国語を翻訳したり、データを分析したりといった多くのことに用いられます。AI は多くの建設的な形で使用することが可能です。しかし、多くの美術家が美術作品を生成する AI プログラムに懸念を抱いています。彼らはこうしたプログラムは制限されるか規制されるべきであると考えているのです。

第一に、画像生成 AI は実在する美術家の作品を盗用します。こうしたプログラムは、人間の美術家によって制作された数千にも及ぶ本物の美術作品の実例をもとにして学習しなければなりません。(1) 多くの美術家は、AI プログラムがそのようにして自分たちの美術作品を利用することを承諾していません。彼らは自分たちの作品が盗まれ、不法に利用されていると考えているのです。

第二に、AI 画像は実在する美術家の仕事を奪ってしまいます。画像生成 AI は、人間の美術家よりもはるかに安い価格で、しかもはるかに少ない時間で写真や絵を作成することができます。こうしたことは実在する美術家に対する需要(2)を変化させ、彼らの仕事を減らしてしまいます。将来的には、たとえ美術家が高度な技術を有し、数年かけて自分の技術を完成させてきたのだとしても、そうしたことが原因で美術家は仕事を失ってしまうかもしれないのです。

最後に、(3)美術の学習について考えてみましょう。線画や絵画や写真はみな創造的な表現形態であり、私たち人間にとって重要なものです。美術の練習は手の小さな筋肉を発達させ、想像力と創造性を促します。もし美術がボタンをクリックすることで作ることができるものになってしまうならば、私たちの文化におけるこの重要な要素を失うことになるでしょう。

結論として、AI プログラムは許諾なしに美術家の作品の見本を取り、美術家の仕事の機会を減少させ、人々が自分で美術作品を制作しようとする気持ちをなくさせてしまいます。多くの美術家は、AI 画像の利点にもかかわらず、それは私たちの文化全般に悪影響をもたらしていると考えています。(4)

先生のコメント

(1) AI プログラムがどのようにしてそれを行うのかを私に教えてくださいませんか？ここにさらに情報を追加してください。

(2) どのように需要を変化させるのですか。もっと具体化してください。

(3) 主題文は論点を適切に要約していません。書き直してください。

(4) ここに結論となる文を追加してください。

全体的なコメント

これは非常に興味深いものです。私はこれまで画像生成 AI について考えたことはありませんでした。よく頑張りました！

設問解説

問1 14 正解①

「コメント(1)に基づくと、ここにどの文を入れるべきか」 14

- ① AI プログラムはこれらの画像を分析し、それらの見本を取って新しい画像を作ります。
- ② AI プログラムは他者の画像を使用することなく、オリジナルの美術作品を制作することができます。
- ③ AI プログラムはプロの美術家から購入した美術作品や写真を利用します。
- ④ AI プログラムは人間の美術家から無料で寄付された絵画を利用します。

正解は①。コメント(1)には、「AI プログラムがどのようにしてそれを行うのかを私に教えてくださいませんか？ここにさらに情報を追加してください」とあるが、「それ」とは直前の2つの文で述べられている、人間の美術家によって制作された本物の美術作品をもとにして学習することで実在する美術家の作品を盗用することを指している。よってそのことを簡潔に言い換えた選択肢①「AI プログラムはこれらの画像を分析し、それらの見本を取って新しい画像を作ります」が空所(1)に追加されるべきであると判断できるので、正解は①となる。

②、③、④ はいずれもそうした内容とはなっていないので不可。

問2 15 正解③

「コメント(2)に基づくと、どの語あるいは表現をここで代わりに用いるべきか」 15

- ① を拡張させ
- ② を拡大させ
- ③ を減少させ
- ④ に取って代わり

正解は③。コメント(2)には、「どのように需要を変化させるのですか。もっと具体化してください」とある。下線部(2)を含む文では「こうしたこと [画像生成 AI が人間の美術家よりもはるかに安価かつはるかに少ない時間で写真や絵を作成することができること] は実在する美術家に対する需要(2)を変化させ、彼らの仕事を減らしてしまいます」とあることから、下線部(2)をより具体的に言い換えれば「実在する美術家に対する需要を減少させる」ことだと判断できる。よって正解は③となる。

①、②、④ はいずれもそうした意味にはなっていないので不可。

問3 16 正解②

「コメント(3)に基づくと、ここにどの主題文を入れるべきか」 16

- ① 画像生成 AI の絵や写真を制作する能力は人間を上回っています
- ② AI 画像が増加していくと、人々は美術作品を研究したり、練習したりする気をなくしてしまうでしょう
- ③ AI 画像を使用する子どもは、美術家とは違う方法で自分の想像力を使います
- ④ AI 画像を使用することは異なる種類の創造性であるので、それは奨励されるべきです

正解は②。コメント(3)には、「主題文は論点を適切に要約していません。書き直してください」とある。この段落の主題は、下線部(3)の後で述べられているように、美術は人間の想像力と創造性を促すが、画像生成 AI の利用によってそうした人間の文化の重要な要素を失ってしまうことになるということだが、それは言い換えれば人間が美術作品を自分の力で研究したり制作したりする機会や動機を奪ってしまうと捉えることができる。よって正解は②となる。

①、③、④ はいずれもこの段落で述べられている内容ではないので不可。

問4 17 正解④

「コメント(4)に基づくと、どの文を追加すべきか」 17

- ① 結果として、美術家は画像生成 AI をもっと注意して利用すべきです。
- ② その結果、AI テクノロジーはまだ十分に効果的ではありません。
- ③ 要約すると、AI をもっと発達させるべきです。
- ④ したがって、画像生成 AI の使用は制限されるべきです。

正解は④。コメント(4)には、「ここに結論となる文を追加してください」とある。空所(4)の前には、多くの美術家はAI プログラムは私たちの文化全般に悪影響をもたらすと考えている、と述べられている。したがって、そうした悪影響をもたらすAI プログラムは制限されるべきである、と続けられれば、結論として自然な内容となると判断できる。よって正解は④となる。ちなみに、第1段落 (In recent years, ...) 最終文でも「彼ら[多くの美術家]はこうしたプログラムは制限されるか規制されるべきであると考えているのです」という同じ趣旨のことが述べられている。

①, ②, ③ はいずれも自然な文脈とはならないので不可。

主な語句・表現

[リード文]

- ◇ draft 図「草稿；下書き」
- ◇ revision 図「修正」
- ◇ work on ... 「…に取り組む」
- ◇ based on ... 「…に基づいて [た]」

[タイトル]

- ◇ AI art generator 「画像生成 AI」
- ◇ properly 図「適切に」

[第1段落]

(In recent years, ...)

- ◇ artificial intelligence (AI) 「人工知能」
- ◇ generate 圖「…を生成する」
- ◇ restrict 圖「…を規制する」
- ◇ AI program 「AI プログラム」
- ◇ art 図「美術 (作品)」

[第2段落]

(First, AI art ...)

- ◇ consent to ... 「…を承諾する；…に同意する」
- ◇ illegally 圖「不法に」

[第3段落]

(Second, AI art ...)

- ◇ demand for ... 「…の需要」
- ◇ cause O to - 「O が-する原因となる」
- ◇ highly skilled 「高度な技術を持っている」
- ◇ leave A with B 「A に B を残す」
- ◇ even though 圖「たとえ…としても」

[最終段落]

(In conclusion, AI ...)

- ◇ in conclusion 「結論として」
- ◇ without permission 「許可 [許諾] なしに」
- ◇ discourage A from -ing 「A に-することを思い止まらせる [-する気をなくさせる]」
- ◇ negative influence on ... 「…への悪影響」
- ◇ sample 圖「…の見本を取る」

[先生のコメント]

- ◇ in what way 圖「どのようにして…か」
- ◇ adequately 圖「適切に」
- ◇ point 図「要点」
- ◇ specific 圖「具体的な」
- ◇ summarize 圖「…を要約する」

[設問文・選択肢]

- ◇ insert 圖「…を入れる [挿入する]」
- ◇ image 図「画像」
- ◇ for free 「ただで；無料で」
- ◇ consequently 圖「その結果；したがって」
- ◇ analyze 圖「…を分析する」
- ◇ donate 圖「…を寄付する」
- ◇ be good at ... 「…が得意だ」
- ◇ in summary 「要約すると」

第5問

解答

- 問1 - ② 問2 - ③ 問3 - ③ (各3点)
- 問4 21 - ⑤ 22 - ② (各2点)
- 問5 - ④ (3点)

出典

Original Material

全訳

あなたはある大学の学生自治会のメンバーの1人で、9月にあなたの大学に入学する新入生に学生生活についてアドバイスするよう依頼されました。以下の記事と在学生に行ったアンケートの結果をもとに、あなたはそれに関するアドバイス用のプリントを作成することになります。

高校生活から大学生活への移行

アンドリュー・リッジリー

ジャーナル・オブ・アメリカン・エデュケーション・スタディーズライター

大学生活は、人生の中で最も記憶に残る時期の1つとして知られている。しかし、高校から大学への移行は大きなものであり、興奮と期待、そしてもちろんそれなりの困難が入り混じった段階であり、誰にとっても容易なことであるわけではない。大学に入学すると、私たちは多くの変化を経験する。大学以前の私たちの学校は、私たちが成長し、人生の半分以上を超える期間在学してきた安全な場所だった。大学への移行はあまりに突然で、いつの間にか学校の先生や友人に守られなくなっている。

大学生活では、それ以前の学校生活とは違った困難が待ち受けている。あなたは今、見知らぬ顔ぶれでいっぱい場所において、そこに溶け込みたいと思う。それは人付き合いの仕方や、自分の意見を形成する方法を教えてくれる。大学では、学生は自由意志を行使することを学び、より大きな自信と落ち着きを持つようになる。

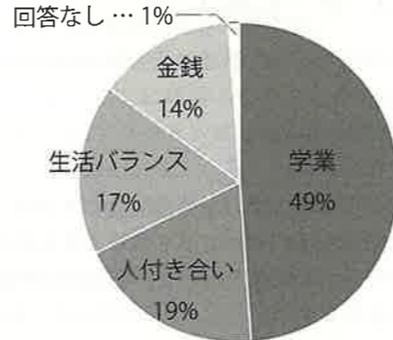
高校では、私たちはいつも友人や先生に頼っていた。大学生活は私たちに自立することを教えてくれる。それは私たちをより強くし、自分自身で戦うことを教えてくれる。また、自分のキャリアを真剣に考えることを助けてくれる。学校時代には親がやってくれていたが、私たちは自分の将来に影響する決断を自らください。

加えて、大学での勉強は知識とチャンスの世界を広げるわくわくするような旅だが、授業は高校よりもより専門的で難しい。授業はより難しく、読むべきものはより長くなり、効率的に勉強し、時間を管理することを学ばなければならない。

高校から大学への移行を成功させる鍵は、自分自身と自分の成功に、より責任を持つことを学ぶことである。勉強のスキルを向上させ、時間を賢く管理し、人とのつながりを作るために最善を尽くす学生は、そうでない学生よりも大学で良い結果を出す可能性が高い。

アンケート結果

Q1: あなたが最も備えができていなかったのは、大学のどの点ですか。



Q2: 大学入学時に苦労したことや困ったことは何ですか。

主なコメント:

- 学生1 (S1): たくさん勉強をしなければ大学で成功することは不可能だとわかった。すべての授業をオンラインで受講したが、それでも必要な勉強量の多さに驚いた。
- S2: 私は自分のお金をすべてコントロールしていたが、うまく管理することができなかった。自分のお金の管理について、今まで誰からもきちんと説明を受けたことがなかった。
- S3: ホームシックがこれほどひどいとは思わなかったが、最初の学期は本当につらかった。
- S4: 高校の時は、学業をおろそかにしないで社会生活を楽しむことは自分にはまったく問題がなかったけれど、大学の最初の数ヶ月はそうするのに苦労した。
- S5: 私の高校時代の勉強習慣はうまく機能しなかった。クラスで一番頭がいいことに慣れていたので、今は平均的な成績でさえ取るのに必死だった。
- S6: 気の合う仲間を見つけるのに時間がかかった。孤独を感じたし、高校時代のようなサポートはなかった。

あなたのプリント:

新入生へのアドバイス

■私たちにとっての大学生活

- 人生で最も忘れられない時の1つ
- 高校から大学への移行: **18** が入り混じった段階

■大学生活で学ぶべきこと

**19**

- A. 自立して強くなる方法。
- B. 社会性を身につけ、自分の意見を持つ方法。
- C. 重要な事柄について友人のアドバイスを聞くこと。
- D. 効率よく勉強し、時間を管理すること。
- E. 自分のキャリアについて真剣に考えること。

■在校生が最も準備不足であった大学の側面

- 学業面を選んだ学生の割合は、他の3つの側面（「回答なし」を除く）を選んだ学生の割合の合計 **20**。

■在学生のコメントから触れておくべき点

- **21** のコメントにあるように、在校生の多くは彼らの **22** は大学でうまく機能しなかったと感じた。新入生には勉強のスキルを向上させるコツを教えるつもりだ。
- グラフが示すように、**23** を含む在学生の17%が、勉強と社会生活の時間を管理するのが難しいと感じていた。大学には多くのわくわくするような社会的、学業的な機会があるが、特に新入生にとっては、すべてを同時にこなすのは大変なことだ。
- お金の管理で苦労する大学生がいるのは驚くことではない。予算を立てることで、学生が自分の支出を把握するのに役立つと伝えたい。

設問解説

問1 **18** 正解②

「**18**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① 憂うつ, いらだち, 希望
- ② 興奮, 期待, 困難
- ③ 期待, 満足, 不安
- ④ 驚き, 孤独, スリル

正解は②。a stage full of a mix of ... は「...が入り混じった段階」という意味。記事の第1段落第2文(However, the transition ...)に「高校から大学への移行は大きなものであり、興奮と期待、そしてもちろんそれなりの困難が入り混じった段階であり、誰にとっても容易なことであるわけではない」とあり、②を入れると「興奮、期待、そして困難が入り混じった段階」となり、本文の内容に一致する。②の expectation「期待」と difficulty「困難」は記事の第1段落第2文中の anticipation, challenges とそれぞれ同義。

①の depression「憂うつ」と frustration「いらだち」、③の satisfaction「満足」と fear「不安」、④の surprise「驚き」、loneliness「孤独」などについては言及されていない。

問2 **19** 正解③

「あなたはプリントをチェックしている。あなたは『大学生活で学生が学ぶべきこと』の部分に1つ間違いを見つけた。どれを取り除くべきか」 **19**

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は③。記事の中に言及がないのはCのみ。他の選択肢の言及箇所は以下の通り。

A: 第3段落第2文(College life teaches ...)「大学生活は私たちに自立することを教えてくれる。それは私たちをより強くし、...」

B: 第2段落第3文(It teaches us ...)「(大学生活では)人付き合いの仕方や、自分の意見を形成する方法を教えてくれる」

D: 第4段落第2文(They are harder, ...)「(大学生活においては)効率的に勉強し、時間を管理することを学ばなければならない」

E: 第3段落第4文(It also helps ...)「(大学生活においては)自分のキャリアを真剣に考えることを助けてくれる」

問3 **20** 正解③

「**20**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① …とまったく同じである
- ② …よりかなり低い
- ③ …とほとんど変わらない
- ④ …をわずかに上回る

正解は③。アンケート結果のQ1のグラフを見ると、the academic aspect（学業面で準備が足りなかったと答えた学生）の割合は49%であり、他の3つの側面（金銭、生活バランス、人付き合い）の割合は3つ合わせて50%である。49%と50%はそれほど差がないので、「学業面を選んだ学生の割合は、他の3つの側面（「回答なし」を除く）を選んだ学生の割合の合計**20**」という文の**20**に入るのは③。

49%と50%は「まったく同じである」とは言えないので①は誤り。49%は50%より「かなり低い」とも「上回る」とも言えないので②、④も誤り。

問4 **21** 正解⑤ **22** 正解②

「**21**」と**22**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

**21**

- ① S1
- ② S2
- ③ S3
- ④ S4
- ⑤ S5
- ⑥ S6

**22**

- ① 入学準備
- ② 以前の勉強の仕方
- ③ 社会的そして学業的機会
- ④ 人付き合いの仕方

正解は**21**が⑤、**22**が②。

最初に**22**」に入る表現を考えるとよい。この空欄が含まれる部分は「**22**」は大学でうまく機能しなかったと感じた。新入生には勉強のスキルを向上させるコツを教えるつもりだ」という意味であることから、**22**」には何か勉強に関連してうまく機能しない物事が入ると考えられる。そして、アンケート結果のQ2のS5のコメントには「私の高校時代の勉強習慣はうまく機能しなかった」とあることから、**22**」に入るのは②「以前の勉強の仕方」が適切。そして、**21**」に入るのはこのコメントを言った学生なので⑤S5が正解。

問5 **23** 正解④

「**23**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① S1
- ② S2
- ③ S3
- ④ S4
- ⑤ S5
- ⑥ S6

正解は④。**23**」はアンケート結果のグラフの17%に含まれる学生なので、「生活バランス」に悩みを抱えている学生である。アンケート結果のQ2で社会生活と学業のバランスについてコメントしているのはS4なので、④が正解。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ current 図「現在の」
- ◇ memorable 図「記憶に残る；印象的な」
- ◇ a mix of ... 「…が入り混じったもの」
- ◇ fair 圖「かなりの」
- ◇ fit in 「適応する；なじむ」
- ◇ form 圖「形成する」
- ◇ whereas 圖「一方で」
- ◇ make a connection with ... 「…と関わりを持つ」
- ◇ aspect 図「側面」
- ◇ homesickness 図「ホームシック」
- ◇ struggle with ... 「…に苦勞する」
- ◇ combined 圖「合計した」
- ◇ stick to ... 「…から離れない；…を守る」
- ◇ keep track of ... 「…の経過を追う；…の記録をつける」
- ◇ spending 図「支出；出費」
- ◇ transition 図「移行」
- ◇ phase 図「段階；局面」
- ◇ anticipation 図「期待」
- ◇ present 圖「引き起こす」
- ◇ socialize 圖「人付き合いする」
- ◇ composed 圖「落ち着いた」
- ◇ specialized 圖「専門化した」
- ◇ academic 圖「学業の」
- ◇ semester 図「学期」
- ◇ incoming 圖「入って来る；次期の」
- ◇ tip 図「ヒント；コツ」
- ◇ budget 図「予算」

第6問

解答

- 問1 - ④ (3点)  
 問2 - 25 ⑤, 26 ②, 27 ③, 28 ① (全部正解で3点)  
 問3 - ② (3点)  
 問4 - ④・⑤ (順不同・両方正解で3点)

出典

Original Material

全訳

あなたとクラスメートは、自分が感動した話を探して、メモを使ってそれを年下の生徒に発表するよう英語の先生に求められました。あなたはイギリスの大学生が書いた話を見つけました。

数学の問題を越えて

ユーアン・ストーンズ

私は数学の教科書のページの空所を見つめた。もう2時間もそれを見ていた。数学のバーンズ先生は、また私のことを怒鳴るだろう。

私はずっと数学で苦勞してきて、小学校の間成績が悪かった。担任のキャンニング先生は「どうして数学をそんなに難しく考えるんだい」と言った。「数学はできないんです」と私は答えた。「君の才能のことを思い出してごらん。君には創造力があるのに、何か難しいことがあると何もできなくなってしまうんだ。数学を違った風に見てごらん」とキャンニング先生は言った。「ひょっとして、数学の問題をストーリーと絡めて考えると、ですか」と私は聞いてみた。「その通りだよ！ やってごらん」と彼は言った。これは役に立った。

両親が離婚したとき、母と私は引っ越し、私は転校した。もう1人のビリーという子が同時に私のクラスに入り、私たちは仲良くなった。大体において何も問題はなかったが、数学の授業については違った。教科書は以前に使っていたのと同じだったが、授業の進度が私には速過ぎて戸惑うばかりだった。数学の怖いバーンズ先生は、絶えず私を怒鳴りつけた。わからなくなるにつれて、私のストレスが増えていった。

ある夜のこと、宿題が恐ろしく難しかった。ページを長いこと見つめていたところ、母が部屋に入って来てなぜ私が何も書いていないのかと尋ねた。私は挫折感から泣き出した。母は「深呼吸してからどうしたのか話してごらんなさい」と言った。母が紅茶を持って来てくれて、2人でおしゃべりをしているうちに気が晴れてきた。

翌日、私を取り乱させたバーンズ先生に腹を立てた母は、学校に乗り込んで来て彼女に文句を言った。バーンズ先生はショックを受けていたようだった。「なぜ宿題をしていないの私が訊いたとき、あなたは怠け者なんだとばかり思っていたのよ」と彼女は言った。私は、自分がパニックを起こすといつも何もできなくなってしまうのだとわかった。

事態は途端に変わった。バーンズ先生は授業中、辛抱強く私の手助けをしてくれた。「すみませんが、これがわからないんです」と言わずにいたのは愚かだったと私は感じた。彼女は私に問題と実生活を関連付けるよう教えてくれ、行き詰っていると感じたときには遠慮なくそう言うよう励ましてくれた。苦しいときに誰かにそれを知らせることは私にとって難しかったが、助けが必要なときにそれを求める勇気を私は持つようになり、やがてそうすることを楽しむようになった。

中学に入ったとき、私はやはり数学が得意ではないものの、どうにかこなしていた。学校の勉強はさらに難しくなったが、仲間のビリーはいつも「困ったとき君は取り乱してしまって、常識がどっかに行ってしまうんだよ！ 肩の力を抜けよ！」と冗談を言った。彼はおかしな動物のビデオやら何やらを見せて私を元気づけてくれるのだった。

とりわけ大変だったある日の終わりに、私はふと友人たちに向かって馬鹿な真似を試してみる気になり、生徒のあふれる廊下でおかしな歩き方をした。ビリーは目を見張って「君らしくなかったじゃないか！」と言った。我々は大笑いして気が晴れたように感じ、この小さな出来事で1日の重圧がたちまち消えてなくなった。

私は今、大学でジャーナリズムを学んでいる。最近ビリーと会ってコーヒーを飲んだが、彼は私の想像力をほめて、「学校のキャンプ旅行で幽霊の話までちあげたのを覚えているかい。気味の悪い話をもっと聞かせてくれてねだる子ばかりだった」と言った。今にして私はわかったのだが、学校での日々の多くを苦手なことについて気に病んで過ごしたあまり、自分の才能のありかを教えてくれるほめ言葉が耳に入らないことが多かったのだ。これもようやく大学に入ってからのことなのだが、時機を見計らって休憩すると良いことが正しく理解できた。来月には大学のダイビング競技会に出るつもりだ。私はダイビングがとても下手なのだが、誰が構うものか。楽しいのだから！ 何でもかんでも上手になんかなれやしないさ！

あなたのメモ：

数学の問題を越えて

著者 (ユーアン・ストーンズ) について

- 小学校で数学が苦手だった。
- 新しい学校では彼の受けている授業はついていくのが難しかったため、さらに数学の出来が悪くなった。

他の重要人物

- キャンニングさんとバーンズさん：ユーアンに勉強法を変えるよう勧めた2人の先生。
- ユーアンの母親：ユーアンが落ち着くよう手助けした。
- ビリー：ユーアンの友人で 24。

ユーアンがストレスに対処するのに役立つ意義深い経験

数学で感心しない成績を取った

→ 25 → 26 → 27 → 28

ユーアンがビリーとの最近の会話の後で気づいたこと

彼はよく 29。

我々がこの話から学べること

- 30
- 31

問1 24 正解④

「24」に最も適した選択肢を選べ

- ① 道化のように振舞い、自分の成績をほとんど気に掛けなかった
- ② ある人に自分の心配事を打ち明けた
- ③ 他の生徒と共に往う活動にユ一アンを誘い込もうとした
- ④ 彼がすぐパニックになるのをやめさせたいと思った

正解は④。第7段落第2文(Schoolwork became more ...)～最終文(He'd cheer me ...)の「困ったとき君は取り乱してしまつて、常識がどっかに行つてしまうんだよ! 肩の力を抜けよ!」という言葉や「彼は…私を元気づけてくれるのだった」という記述から、パニックを起こしやすいという筆者の弱点をピリーは理解しており、それが克服されることを望んでいたことがうかがわれる。

他の選択肢はいずれも本文中に見られない内容であり、不正解。

問2 25 → 26 → 27 → 28 正解⑤ → ② → ③ → ①

「5つの出来事(①～⑤)のうち4つを選び、起きた順に並べ替えよ」

- ① ときどき休憩するのが助けになると正しく理解した
- ② 自分は困ったときにはっきりそう言えないことに気づいた
- ③ 友人たちの前でふざけた
- ④ 問題に前向きに取り組むべくさらに努力した
- ⑤ 自分の創造力を利用するよう助言を受けた

正解は⑤ → ② → ③ → ①。まず、第2段落第4文(“Remember your talents.”)～第6文(Look at maths ...)に書かれているように、転校する前の小学校で担任のキャング先生に「君の才能を思い出してごらん。君には創造力がある」、「数学を違つた風に見てごらん」という助言を受けており、25に⑤が入る。次に第5段落最終文(I realised that ...)に、転校先のバーンズ先生との対話を通じて「自分がパニックを起こすと何もできなくなつてしまうのだとわかつた」とあるので、26に②が入る。第8段落第1文(After a particularly ...)に書かれている、中学校での「生徒のあふれる廊下でおかしな歩き方をした」が③に当たり、これが27に入る。最後に最終段落第5文(It also wasn't ...)に書かれているように、大学入学後に「時機を見計らつて休憩すると良いことが正しく理解できた」ので、28には①が入る。

④に当たる特定の出来事は本文中に見られない。

問3 29 正解②

「29」に最も適した選択肢を選べ

- ① 学校の勉強に関係がなければ難題に挑むのを楽しんだ
- ② 自分が得意なことを他者が指摘したとき気づけずにいた
- ③ 容易な状況に対してさえ、最初は恐怖を感じた
- ④ あまりうまく対処できないとき、友人と連絡を取り合うのをやめた

正解は②。最終段落第4文(I now realise ...)に、ピリーとの最近の会話を紹介したのに続けて「今にして私はわかつたのだが、学校での日々の多くを苦手なことについて気に病んで過ごしたあまり、自分の才能のありかを教えてくれるほめ言葉が耳に入らないことが多かつた」とある。

他の選択肢は、いずれも本文中に見られない内容であり不正解。

問4 30・31 正解④・⑤

「30」と「31」に最も適した選択肢を2つ選べ(順序は問わない)

- ① 困難に立ち向かうためのさまざまな異なる技法を意識せよ。
- ② 頑張れば何事においても成功は可能である。
- ③ 悲惨な気持ちのときあきらめることは恥ずかしいことではない。
- ④ 短所を克服する手助けとするために長所を用いよ。
- ⑤ つらいときには助けを求めることを遠慮すべきではない。

正解は④と⑤。第2段落第4文(“Remember your talents.”)以降に、キャング先生に創造性という自分の才能を生かして苦手意識のある数学に対して違つた風に取り組むよう助言され、この方法が役立つたことが書かれているため、④は正解になる。また、第6段落最終文(Though letting someone ...)に「苦しいときに誰かにそれを知らせることは」筆者にとって「難しかつたが、助けが必要なときにそれを求める勇気を」筆者は持つようになったことが書かれているため、⑤も正解になる。

主な語句・表現

【タイトル】

・問題冊子を参照のこと。

◇ maths 図「数学」 mathematics のイギリス式の略式表記(アメリカ式は math)。

【第1段落】

(I stared at ...)

◇ My maths teacher, Ms Burns, would shout at me again. 「数学の先生のバーンズさんはまた私を怒鳴りつけるだろう」 筆者が心中で思つた内容を表しており、I thought (that) my maths teacher ... などと補つて考えることができる。

【第2段落】

(I'd always struggled ...)

◇ struggle with ... 「…(のこと)で苦心する」  
 ◇ getting low scores during primary school 「小学校の間、低い成績を取つていて」 分詞構文。  
 ◇ freeze 圖「動け[しゃべれ]なくなる」  
 ◇ another way 「別のやり方で」 副詞句で、直前に前置詞 in を補うことができる。  
 ◇ in terms of ... 「…の観点から」

【第3段落】

(When my parents ...)

◇ clueless 圖「すっかり戸惑つた；わけがわからない」  
 ◇ yell at ... 「…に対して怒鳴る」  
 ◇ The less I understood, the more stressed I got. 「私はわかることが少なくなればなるほど、ストレスを感じるようになった」 いわゆる「the + 〈比較級〉 ..., the + 〈比較級〉 ~」(…すればするほど、より～)の形。I understood little., I got stressed. の little (understand を他動詞と考えるならその目的語となる「わずかなこと」という意味の代名詞、自動詞と考えるならそれを修飾する「わずかしか…ない」という意味の副詞)、stressed (「ストレスを感じて」という意味の形容詞)がそれぞれ the + 〈比較級〉 に変形されて節の先頭に移動して出来たもの、と考えることができる。

【第4段落】

(One night, the ...)

◇ for ages 「長い間にわたつて」「何年、何十年にもわたつて」という場合もあれば、ここのように「数分から数時間にわたつて」の場合もある。

【第5段落】

(The next day, ...)

◇ angry with Ms Burns for upsetting me 「私を取り乱させたことに対してバーンズ先生に腹を立てて」 分詞構文。直前に being を補うことができる。  
 ◇ genuinely 圖「純粹に；心から」

【第6段落】

(Things immediately ...)

◇ feel foolish for ... 「…について自分が馬鹿であると感じる」  
 ◇ speak out 「遠慮なく話す；思い切つて言う」  
 ◇ stuck 圖「行き詰つて；途方に暮れて」  
 ◇ was soon glad I did 「じきにそうすることが嬉しくなつた」 be glad (that) ... は「…する

[である] のを嬉しく思う」という意味で、did は代動詞でここでは asked (for assistance) の意味。

[第7段落] (On entering secondary ...)  
◇ He'd cheer me up 「彼は私を元気づけたものだった」 ここでの He'd は He would の略形で、would は「よく-したものだ」という「過去の動作の繰り返し」を表す用法。cheer ... up / cheer up ... は「...を元気づける [励ます]」という意味。

[第8段落] (After a particularly ...)  
◇ act silly 「愚かなふるまいをする」 この場合の silly は副詞で sillily と同義。  
◇ wide-eyed 罫 「目を見開いて；仰天して」 ここでは分詞構文で、直前に being を補うことができる。

◇ unlike 罫 「...らしくない」  
◇ it felt liberating 「それは解放的にするように感じられた」 it は直前に書かれた学校の廊下でおかしな歩き方をする、という筆者がふと思いついて取った行動のこと。liberating は「(人を) 自由 [解放的] にする」という意味。

[最終段落] (I'm studying journalism ...)  
◇ spooky 罫 「幽霊の出そうな；不気味な」 -er / -est 型で変化する形容詞であり、ここでの more spooky tales は many spooky tales の many が比較級になったもの。

◇ I spent a lot of my school days worrying so much about what I was poor at that I often missed praise that told me where my talents lay 「自分の才能がどこにあるかを私に語る賛辞を聞き逃すことが多いほどに、自分が苦手なことについて大いに悩むのに学生時代の時間の多くを費やした」 spend + 〈時間〉 + -ing (-するのに 〈時間〉 を費やす), so ... that ~ (～であるほど...；非常に...なので～) が用いられている (この形で用いられている that は1つめのもの)。what は関係代名詞で、what I was poor at という名詞節の中で at の目的語として働いている。miss は、ここでは「...を聞き逃す」という意味の他動詞。2つめの that は関係代名詞で、that (S) told (V) me (O<sub>1</sub>) where my talents lay (O<sub>2</sub>) という構造の形容詞節を導いている。where my talents lay は疑問副詞 where が導く名詞節で、ここでの lay は、「ある；存在している」という意味の自動詞 lie の過去形。

◇ it isn't until ... that ~ 「...してようやく～する」  
◇ I'm a terrible diver, but who cares? 「私はダイビングがとても苦手だが、そのことを誰が気に掛けるものか」 who cares は反語的で、「誰も気に掛けるはずがない」というニュアンスを含んでいる。

[メモ] ◇ approach 罫 「取り組み；(研究) 方法」  
◇ calm down 「落ち着く」  
◇ unimpressive 罫 「期待外れの；パッとしない」

[設問文・選択肢] ◇ clown 罫 「道化 (師；役者)」  
◇ speak up 「遠慮なく話す；思い切って言う」  
◇ fool around 「ふざける」

## 第7問

### 解答

問1 - ③ (3点)  
問2 - ③・④ (順不同・両方正解で4点)  
問3 - ② 問4 - ③ 問5 - ① (各3点)

### 出典

#### Original Material

### 全訳

あなたは、国際的な環境に関する発表のコンテストに向けて準備中の、学生グループの一員です。あなたは貴重な資源に関する発表の自分の担当箇所を作るために、以下の文章を用いています。

誰かに地球上で最も貴重な天然資源は何かと尋ねたなら、相手は「水」と答えるかもしれない。それ無しでは我々は生きていけないのだから。あるいはことによると「石油」かもしれない。文字通り我々の現代の生活の原動力となっており、輸送や製造業になくならないのだから。しかし種子に関してはどうだろうか。

凍てつく山の下に、2008年に開設された、人類の未来を握る建造物が存在している。驚くべきことに、また恐ろしいことに、我々の食糧の95%はわずか30種の作物に由来している。世界種子貯蔵庫は93万種を超える食糧を何百万もの小さな茶色い凍った粒という形態で保存している。それは一面では銀行、一面では博物館と言えるようなもので、人類による13,000年にわたる作物栽培の歴史の集積を貯蔵している。それはノルウェーによって設立され、運営には政府の資金が割り当てられており、定期便の航空機の行き先となる最北端の氷の海に鎮座している。

遺伝子バンクと呼ばれる類似の事業が1,700ほど、地球上のあちこちに点在している。これらが主に貯蔵しているのは地元産の種子であり、それらは主としてさまざまな植物に関する科学的情報を目録化し、絶滅の危機にある種を保護することを目的に集められている。中には、とりわけ暑い国々のバナナやコーヒーなどの植物には、貯蔵可能な種子を持たずに植物そのものを化学薬品に漬けて保存されているものもある。こうした方法を可能にする科学技術の発展や、気候変動に関する不安の増大に伴い、厳しい気候に耐え抜くことのできる新たな変種の作物を作り上げられることへの期待から、この作業にはさらに注目が集まっている。2005年から2008年までの間に、小麦の値段は急激に上昇し米の価格は3倍になったが、その主な原因は地球上の作物の大部分を一掃した天候と植物の病気だった。2001年の国際種子条約と呼ばれる文書を取りまとめるに当たって国際連合の助力を受けた世界種子貯蔵庫は、これら各地の遺伝子バンクが保有するあらゆる種子の複製を入手し維持することを目標としている。これほど地理的に広域にわたる協力関係は、紛争に満ちた環境的不安定化が進む世界に生きる人類にとって、一筋の望みをもたらすものである。重大な気候変動や植物の病気が蔓延する際には、それに耐えて生き残り得る作物の変種を探すために各国政府はその目録を利用することができるだろう。

第二次世界大戦中の1941年9月に、ソ連の重要な産業都市レニングラードをヒトラーの軍隊は包囲し、交通網を断って都市の緊急供給食糧の詰め込まれた建造物を焼き払った。包囲網内に捉われた市民とソ連軍は、約840日にわたってドイツ軍の侵入を阻んだ。記録上最も寒い冬のうちの1つを屋根のない武器工場では働き通して、この都市をドイツ人たちの手に渡すことなく死守した。人々は動物園の動物を食べたり、食用に皮革を茹でたりすることを余儀なくされた。レニングラードはまた、極めて優秀な科学者たちを擁する立派な大学を誇っていた。記録に残る最初期の種子バンクの1つがそこにはあって、この困難な時期に10人ほどの科学者が種子と植物であふれる部屋に閉じこもり、飢餓に瀕

した地元民による略奪を阻止した。科学者のうち何人かは命を落とし、米の入った袋に取り囲まれながら亡くなったと思しき者さえも1人いた。世界種子貯蔵庫は現在、この当初の種子の多くを取藏品として貯蔵している。

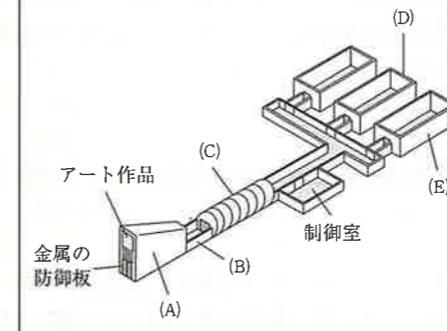
世界種子貯蔵庫の設営地は決して偶然選ばれたものではない。戦争や政府の方針に不満を持つ市民主導のデモ、顕著な気候変動などの現代における危険から隔たったこの土地は、日々地球規模で姿を消している植物資源の保護にうってつけである。そしてそのことが、複数国の政府や私企業から資金の提供を受けている理由となっている。農業は高度先端技術化して大規模な作物生産が可能になっている。しかし、今日の合衆国に存在する果実や野菜の品種数は1900年代初頭に栽培されていたものの10%に過ぎず、中国はわずか70年前には米の選択肢が現在より90%多かった。こうした多様性の欠如は、病気や気象条件の悪化が大規模な危険をもたらすことを意味する。我々が限られた数の作物種に依存しているものでなければ、衝撃度はそこまでではないだろう。

施設自体は一連のトンネルや部屋から成っており、種子は主要な中央の貯蔵庫の床から天井まである棚に積み重ねられており、この中央の貯蔵庫が一杯になった時に備えて左右には2つの空の貯蔵庫がある。貯蔵庫のドアを覆う厚い氷から、内部がいかに低温であるかが直ちに見て取れる。建物全体が温度を調節されており、冷却装置は施設の入り口を保護する金属の防御板の上部に据えられた見事なアート作品を過ぎるとすぐに設置されている。貯蔵庫に向かう人々は、箱を前後に運ぶのに用いられる運搬システムを通り過ぎる。このシステムと貯蔵庫の間には、建物を気候変化や腐食から保護するために設計されたスリープがある。操作は脇の制御室で行われ、起きていることはすべてここで仔細に監視可能である。

あなたの発表用スライド：

<p>世界種子貯蔵庫： 我々の未来</p>	<p>1. 始まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2008年設立</li> <li>トンネルと部屋から成る建造物</li> <li>•</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">32</span></li> <li>•</li> </ul>
<p>2. 支援となる計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より小規模な他の種子バンク</li> <li>遺伝子バンクが…             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1,700の用地を含む</li> <li>✓ 生物学的情報を記録する</li> <li>✓ 絶滅危惧植物を保護する</li> <li>✓ 植物を薬品に漬ける</li> <li>✓ 遺伝的研究を行う</li> </ul> </li> </ul>	<p>3. 懸念される事実</p> <p>多様性 → 多様性の欠如</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">33</span></li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">34</span></li> </ul>

4. 配置図 35



5. まとめ

36

設問解説

問1 32 正解③

「以下のうちいずれを 32 に含むべきではないか」

- ① 極北の地
- ② 私企業による寄付金
- ③ 主としてヨーロッパの種子
- ④ 種子を冷凍室で保存
- ⑤ 国際連合による支援

正解は③。文章の第3段落第6文 (With help by ...) に、世界種子貯蔵庫が「これら各地の遺伝子バンクが保有するあらゆる種子の複製を入手し維持することを目標としている」とあり、また「これら各地の遺伝子バンク」については同段落第1文 (Around 1,700 similar ...) に「地球上のあちらこちらに点在している」、「主に貯蔵しているのは地元産の種子」とあることから、ヨーロッパ以外の世界各地の種子も積極的に入手しているはずであるため本文の内容に合わず、したがって正解となる。

他の選択肢のうち、①は第2段落最終文 (Set up by ...) にその所在地が「定期便の航空機の行き先となる最北端の氷の海」であることが、②は第5段落第3文 (And that explains ...) に「私企業から資金の提供を受けている」ことが、④は第2段落第3文 (The Global Seed ...) に種子が「凍った粒という形態で保存」されていることが、⑤は第3段落第6文 (With help by ...) に「国際連合の助力を受けた」ことが、それぞれ書かれており、いずれも 32 に含まれるべき内容となっているため、不正解。

問2 33・34 正解③・④

「『懸念される事実』のスライドのために、食糧に関連した問題の2つの例を選べ (順序は問わない)」 33・34

- ① 13,000年前と比べ、今日食べることのできる作物の数は5%に過ぎない。
- ② 各国政府は、食料生産技術よりも戦争や病気に多くの財力を費やしている。
- ③ わずか70年の間に、中国の米の選択肢の半数近くが消滅した。
- ④ 1つには悪天候によって、3年間で米の価格が3倍に高騰した。
- ⑤ アメリカのスーパーマーケットは、農産物の90%以上を輸入することを余儀なくされている。

正解は③と④。③は第5段落第4文 (The agriculture industry ...) の「中国はわずか70年前には米の選択肢が現在より90%多かった」という部分の内容に一致する。また、④は第3段落第5文 (Between 2005 and ...) の「2005年から2008年までの間に…米の価格は3倍になったが、その主な原因は…天候と植物の病気だった」という部分の内容に一致する。

他の選択肢のうち、①は13,000年という数字は第2段落第4文 (It could be ...) に見られるが、「人類による13,000年にわたる作物栽培の歴史」という表現の中で用いられているものであり、この選択肢とは内容的に無関係であるため、不正解。②、⑤に相当する内容も本文中に見られないため、やはり不正解。

問3 **35** 正解②

「配置図」のスライド用の世界種子貯蔵庫の図に欠けているラベルを完成させよ

**35**

- |              |            |            |
|--------------|------------|------------|
| ① (A) 冷却装置   | (B) スリーブ   | (C) 主要貯蔵庫  |
| (D) 運搬システム   | (E) 空の貯蔵庫  |            |
| ② (A) 冷却装置   | (B) 運搬システム | (C) スリーブ   |
| (D) 主要貯蔵庫    | (E) 空の貯蔵庫  |            |
| ③ (A) 空の貯蔵庫  | (B) 主要貯蔵庫  | (C) 冷却装置   |
| (D) 運搬システム   | (E) スリーブ   |            |
| ④ (A) スリーブ   | (B) 冷却装置   | (C) 運搬システム |
| (D) 空の貯蔵庫    | (E) 主要貯蔵庫  |            |
| ⑤ (A) 運搬システム | (B) 空の貯蔵庫  | (C) スリーブ   |
| (D) 主要貯蔵庫    | (E) 冷却装置   |            |

正解は②。最終段落第1文 (The facility itself ...) の「種子は主要な中央の貯蔵庫の床から天井まである棚に積み重ねられており、この中央の貯蔵庫が一杯になった時に備えて左右には2つの空の貯蔵庫がある」という記述より、(D)が主要貯蔵庫 (Main Vault) で(E)ともう1つの空の貯蔵庫 (Empty Vaults) がその左右に位置していることがわかる。また同段落第3文 (The whole building ...) の「冷却装置は施設の入り口を保護する金属の防壁の上部に据えられた見事なアート作品を過ぎるとすぐに設置されている」という部分から、(A)が冷却装置 (Cooling System) ということになる。さらに同段落第4文 (People heading to ...) の「貯蔵庫に向かう人々は、…運搬システムを通り過ぎる」という部分、及び同段落第5文 (Between this system ...) の「この(運搬)システムと貯蔵庫の間には、…スリーブがある」という部分から、(B)が運搬システム (Trolley System)、(C)がスリーブ (Sleeve) であることがわかる。

問4 **36** 正解③

「最後のスライドに最も適した記述はどれか」 **36**

- ① 世界種子貯蔵庫をさらに発展させ貯蔵量を増やすことにより、局地的な遺伝子バンクの閉鎖が可能になり、世界の指導者たちは自国に影響を及ぼす特定の問題にさらに集中することが可能となる。
- ② 気候変動から種子を守るために適所に機構を設置することが不可欠であり、世界種子貯蔵庫は構造が堅牢であるため、維持されるなら地球温暖化について我々がより多くを知るまで種子を守るだろう。
- ③ 政治的に不安定な時代にあつて、世界種子貯蔵庫は万人に恩恵をもたらす稀な世界的事業である。ゆくゆくは、農業に関する難題に直面する地域の指導者たちが、彼らの環境危機にとって適切な作物を見つけるためにデータベースを調べることになるだろう。
- ④ 貯蔵庫は外的要因から食料資源を守るに足るほど堅牢で、世界種子貯蔵庫のアート作品もまた世間の注目を集めている。これは、人々を教育し世界種子貯蔵庫の重要な目的に気づかせる意図によるものである。

正解は③。第3段落第7文 (This cooperation over ...) の、世界種子貯蔵庫の試みについての「これほど地理的に広域にわたる協力関係は、紛争に満ちた…世界に生きる人類に

とって、一筋の望みをもたらすものである」、同段落最終文 (In case of ...) の「重大な気候変動や植物の病気が蔓延する際には、それに耐えて生き残り得る作物の変種を探すために各国政府はその目録を利用することができるだろう」という記述に一致した内容となっている。

他の選択肢のうち、①は「局地的な遺伝子バンクの閉鎖」、「自国に影響を及ぼす特定の問題にさらに集中」など、②は「適所に機構を設置」、「世界種子貯蔵庫は構造が堅牢である」、④は「人々を教育し世界種子貯蔵庫の重要な目的に気づかせる意図」など、それぞれ本文中に見られない内容を含んでいるため、不正解。

問5 **37** 正解①

「第二次世界大戦中のレニングラードの状況について何が推察可能か」 **37**

- ① 食糧資源が緊急に必要とされていたにもかかわらず、科学者たちは将来のためにそれらを保護することの方が重要であることを理解していた。
- ② 攻撃を行っている軍隊は食糧の詰め込まれた部屋の重要性を認識しておらず、それを破壊しなかった。
- ③ 市民は、種子バンクやそれが設立された理由にほとんど関心がなかった。
- ④ 種子バンクは非常に価値の高い資源だったので、それが収容されていた建造物はとりわけ安全性が高かった。

正解は①。第4段落第4文 (People were forced ...) に述べられているように、当時のレニングラードは市民が動物園の動物や皮革を食べなければならぬほどの食糧難に追い込まれていたが、第6文 (One of the ...)、第7文 (Several of the ...) に述べられているように、科学者たちは身を挺して食料となる種子を守り、自らもそれらには敢えて手をつけず命を落とす者もいた、ということから正しい記述であると推察できる。

他の選択肢のうち、③、④は本文中に見られない内容であるため、不正解。②は第4段落第1文 (During World War ...) の「ヒットラーの軍隊は…都市の緊急供給食糧の詰め込まれた建造物を焼き払った」という記述と矛盾するため、やはり不正解。

主な語句・表現

[第1段落]

(If you ask ...)

・問題冊子を参照のこと。

◇ they will possibly reply "water" 「彼らは『水』と答えるかもしれない」 they は someone を指す。現代の英語では -one, -body の形の代名詞を受ける代名詞としては they を用いるのが一般的。

◇ Or perhaps "oil" 「あるいはことによると『石油』(と彼らは答える)かもしれない」 Or (they will) perhaps (reply) "oil" と省略された語句を補って考えることができる。

◇ which drives our modern lives, literally 「それは文字通り、我々の現代の生活に動力を提供する」 非制限用法の関係代名詞 which が導く、先行詞となる "oil" について補足説明となる節。ここでの drive は他動詞で「…を動かす；…に動力を提供する」という意味。

◇ with transportation and manufacturing depending on it 「輸送と製造業がそれに依存して」 「付帯状況」を表す「with + (名詞) + -ing」(名詞) が-している状況での形。

[第2段落]

(Under a freezing ...)

◇ Under a freezing mountain is a building 「凍るような山の下に1つの建物がある」 Under ... (M) is (V) a building (S) という倒置形。

◇ opened in 2008, that holds the future of our species 「2008年に開設され、我々の種の未来を握っている」 opened in 2008 は分詞構文。that は関係代名詞で a building を修飾する形容詞節を導いている。

◇ the Global Seed Vault 「世界種子貯蔵庫」 ノルウェー領スヴァールバル諸島のスピッツベルゲン島にある種子貯蔵庫。気候変動、自然災害、病気の蔓延、核戦争などに備えて、農作物種の絶滅を防ぎ、地域的絶滅の際には栽培再開の機会を提供することを目指す。

[第3段落]  
(Around 1,700  
similar ...)

- ◇ It could be described as part bank and part museum 「それは部分的には銀行、部分的には博物館と表現され得る」 ここでの part は「一部は;部分的には」という意味の副詞で、これに修飾される bank や museum は名詞というより主語である it の性質を表す形容詞に近いので、冠詞を付けずに用いられる。(例) She is *part* singer, *part* actress. (彼女には歌手としての顔と女優としての顔がある)
- ◇ storing a collection of ... 「…の集積を貯蔵して」 分詞構文。
- ◇ Set up by Norway 「ノルウェーによって創設されて」 分詞構文。
- ◇ with government money assigned to run it 「政府の資金がそれを経営するために割り当てられて」 「付帯状況」を表す「with + <名詞> + p.p.」 (<名詞> が-されている状況で) の形。
- ◇ Around 1,700 similar projects, called gene banks 「遺伝子バンクと呼ばれる、1,700 ほどの類似の事業」 called gene banks はカンマを隔てた前に置かれた Around 1,700 similar projects の補足説明となる句で、非制限用法の関係詞を用いた which is called gene banks とほぼ同内容。
- ◇ be scattered 「散在 [点在] している」
- ◇ which are mainly collected to catalogue ... and to save ~ 「それらは…を目録化し~を救うために主として集められる」 which は先行詞である seeds の補足説明となる節を導く、非制限用法の関係代名詞。ここでの catalogue は他動詞で「…の目録を作成する;…を目録に載せる」という意味。
- ◇ Some, especially those such as ... 「あるもの、とりわけ…のようなもの」 Some と those の直後にはそれぞれ species を補うことができる。
- ◇ As technology allowing such practices develops, and alarm about climate change escalates 「こうした活動を可能にする技術が発達し、気候変動に関する不安が増大するにつれて」 as は「比例」を表す接続詞。technology (S) develops (V) と alarm (S) escalates (V) をそれぞれ中心とする2つの部分が and でつながれて、1つの副詞節にまとめられている。
- ◇ mainly due to weather and plant diseases wiping out ... 「主に…を一掃する天候と植物の病気のために」 前置詞相当語句である due to に対して、目的語が weather and plant で現在分詞 wiping の導く形容詞句がこれを修飾しているとも、目的語が動名詞 wiping が導く名詞句で weather and plant diseases がその意味上の主語を示しているとも取れる。
- ◇ the International Seed Treaty 「国際種子条約」 世界中の食糧農作物の遺伝子資源を保護し、持続的に使用することを目的とした条約。
- ◇ a rare ray of hope 「一筋 [一縷] の希望の光」

[第4段落]  
(During World  
War ...)

- ◇ just managing to stop the Germans from taking their city 「ドイツ人たちが彼らの都市を奪うことを何とか阻止して」 分詞構文。
- ◇ boast 囂 「…を(誇りとして)持っている」
- ◇ one even apparently amongst bags of rice 「1人はどうやら米の入った袋の間で死にさえした」 直前の Several of the scientists died を受けて、one (of the scientists died) even apparently amongst bags of rice という省略が行われていると考えられる。周囲に潤沢な食料があったらしいにも関わらず、それらには敢えて手をつけず恐らくは餓死した、ということ。

[第5段落]  
(The location of  
...)

- ◇ The location ... is no accident. 「所在地は決して偶然ではない」 ここでの location は「所在地; 設営地」という意味。「be + no + <名詞>」で「決して…ではない」という意味。(例) He is *no* businessman. (彼は決して実務家などではない)
- ◇ allowing large-scale crop production 「大規模な作物生産を可能にして」 分詞構文。

[最終段落]  
(The facility  
itself ...)

- ◇ with the seeds stacked on floor-to-ceiling shelves in the main central vault 「種子は主要な中央の貯蔵庫の床から天井までである棚に積み重ねられて」 「付帯状況」を表す「with + <名詞> + p.p.」 (<名詞> が-されている状況で) の形。stack は「…を(きちんと)積み重ねる」という意味。
- ◇ two empty ones, which are ready for when the central vault is full 「中央の貯蔵庫が満杯になるときに備えている2つの空の貯蔵庫」 ones は既出可算名詞の複数形の代用となる代名詞で、ここでは vaults のこと。when は関係副詞で直前に先行詞となる the time を補うことができる。
- ◇ indicates immediately how cold these vaults are inside 「貯蔵庫が内部ではいかに低温かを直接示す」 ここでの immediately は directly (直接に; 直に) とほぼ同義で、indicates を修飾している。inside はここでは副詞で are を修飾している。
- ◇ with a cooling system located just past the impressive artwork that sits above ... 「冷却装置は…の上部にある見事なアート作品を過ぎるとすぐに設置されていて」 「付帯状況」を表す「with + <名詞> + p.p.」 (<名詞> が-されている状況で) の形。ここでの past は前置詞で、「[場所] の先 [を過ぎたところ] に」という意味。関係代名詞の that が導く形容詞節が the impressive artwork を修飾している。
- ◇ People heading to the vaults pass a trolley system, which is used to carry boxes back and forth. 「貯蔵庫に向かう人々は、箱を前後に運ぶのに用いられる運搬システムを通り過ぎる」 People (S) pass (V) a trolley system (O) が1文の中心となる構造。heading to the vaults は people を修飾する形容詞句。which は a trolley system の補足説明となる節を導く非制限用法の関係代名詞。to carry ... は「目的」を表す副詞用法の to 不定詞。
- ◇ Between this system and the vaults is a sleeve, designed to protect ... 「このシステムと貯蔵庫の間には、…を保護するために設計されたスリーブがある」 Between this system and the vaults (M) is (V) a sleeve (S) という倒置形。designed to protect ... はカンマを隔てた前に置かれた a sleeve の補足説明となる句で、非制限用法の関係代名詞を用いた which was designed to protect ... という節とほぼ同内容。

[発表用スライド]

- ◇ endangered 罨 「絶滅の危険にさらされた」
- ◇ pickle 罨 「…を漬け汁に漬ける」

[設問文・選択肢]

- ◇ making it possible for world leaders to focus more on ... 「世界の指導者たちが…により集中することを可能にする」 分詞構文。動詞としての make に続く構造は make (V) it (仮O) possible (C) to focus (真O) で、for world leaders は to focus の意味上の主語を示している。
- ◇ in place 「本来の場所 [適所] に」
- ◇ if maintained 「もし維持されるなら」 副詞節の if it [= the Global Seed Vault] is maintained の it is が省略されているとも、分詞構文の maintained に接続詞の if が添えられることで意味が明確化されているとも取れる。
- ◇ This is intended to educate ... 「これは…を教育するよう意図されている」 intend O to- (O が-するように意図する) が受動態で用いられている。
- ◇ regard for ... 「…への関心」
- ◇ the reasons it had been founded 「それ [= 種子バンク] が設立された理由」 it had been founded は形容詞節として the reasons を修飾しており、直前には関係副詞の why などを補うことができる。
- ◇ the building it was housed in 「それ [= 種子バンク] が収容された建造物」 it was housed in は形容詞節として the building を修飾しており、直前には関係代名詞の which または that を補うことができる。house O in ... は「O を… (の中) に収容する」という意味で、ここでは受動態で用いられている。

第8問

解答

問1 - ③	問2 - ①	(各3点)
問3 - 40	41 - ②・④ (順不同)	42 - ① (全部正解で4点)
問4 - ④		(3点)
問5 - ④		(4点)

出典

Original Material

全訳

あなたは授業でどの程度グループワークを行うべきかについてのエッセイを作成中です。これをするために、以下のステップに従います。

- ステップ1：グループワークに関するさまざまな見解を読んで理解する。
- ステップ2：授業でどの程度グループワークを行うべきかについての立場を決める。
- ステップ3：エッセイの概要を作成するために追加の資料を使用する。

[ステップ1] さまざまな資料を読む

著者A (研究者)

研修中の教師から、教室でのグループワークについて私はよく質問されます。生徒がグループで活動することから得られる利点を示す多くの研究が存在します。これらの研究の結果は何を示しているのでしょうか。生徒は他の生徒とのやり取りを増やすほど、より効率的に学習することを示しています。これは、自分の考えや答えを他の人と比較することで、多くのことに気づくからです。このグループによる活動のプロセスにより、生徒は素早く知識を深め、批判的思考能力を身につけることができます。

著者B (高校の校長)

グループワークには多くの利点があり、生徒たちはそれを楽しんでいることは事実です。しかし、ある方法が楽しいからといって、それが唯一使用されるべき方法であるというわけではありません。研究によれば、生徒たちの学習方法は多様であり、教師はこれを反映するさまざまな活動や方法を持つ必要があります。これは、ある程度のグループワークは素晴らしいものだが、授業を成功させるためには、個別作業とのバランスもやはり必要であることを意味します。1つの方法に過度に依存することは、成績と学習態度の双方において悪影響を及ぼすでしょう。

著者C (教師)

教師としてのキャリアをスタートさせたばかりの頃、私はたいていの場合、生徒に個別作業をさせていました。このスタイルは楽しかったのですが、それが生徒にとって最も興味深い方法ではなかったかもしれないと気づきました。これがグループワークを加えてみるきっかけとなりました。最初は、生徒たちがグループの仲間とわくわくしながら意見を共有し、確かに多くのことを学んでいることに気づきました。その後まもなく、彼らの成績が以前よりも早く伸びていることに気づきました。これが今日、私が授業時間の大部分をグループワークに割り当てている理由です。

著者D (高校生)

私の学校では、ほとんどの教師がグループワークを使用しています。時には楽しく、友人から確かに多くのことを学ぶことができます。しかしほぼ全ての授業でグループワークが

設問解説

行われると、グループの仲間の一部が課題に真剣に取り組みません。他方、1人で課題に取り組むと、私はしばしば答えを見つけるのに大変苦労することがありますが、責任感が生まれます。ですから、どちらの学習法もそれなりの利点と欠点があり、授業では両方を組み合わせるべきです。

著者E (親)

私の娘は、校外で多くの素晴らしい学習機会を提供するよい高校に通っています。最近、美術の先生がグループプロジェクトを課しました。それを完了するためには、生徒たちは2つの異なる美術館を訪れる必要がありました。それは価値のある経験でした。しかし、生徒たちの忙しいスケジュールのため、一部の生徒は訪問を果たすことができませんでした。娘は多くを学んだと言っていますが、結局ほとんどの作業を自分で行うことになり、娘にとってストレスになりました。今後は、先生がグループプロジェクトのためにもっと時間を与えて、全員が貢献できるようにしてほしいと願っています。

「授業にどの程度グループワークを取り入れるべきか」がトピックで、各著者の基本的な立場と、主な主張をまとめると、以下のようになる。

著者	基本的立場	主な主張
A	グループワーク重視	・グループワークで学習が促進される。 ・知識・批判的思考の発展。
B	バランス重視	・学習方法の多様性重視。 ・グループワークと個人作業のバランス。
C	グループワーク重視	・グループワークによる興味・成績向上。 ・当初、個人作業を好んだが、今はグループワーク中心。
D	バランス重視	・グループワークは多くを学べるが、参加しない生徒が出てくる。 ・個人作業は大変だが責任感が持てる。
E	慎重	・グループワークの際の生徒のスケジュール調整が課題。 ・個人に負担が集中しないよう全員が関わること。

問1 38 正解③

「著者AとCはいずれも38と述べている」

- ① グループワークによって、授業中に教師が生徒のコミュニケーションスキルを高めることがより容易になる
- ② 生徒はグループになることで、標準的レベルの問題に対する解答を見つけることがより容易になる
- ③ 他者と協働する時には、生徒は知識をより早く身につける傾向がある
- ④ グループの仲間は答えを共有できるため、グループ作業の後では試験結果が大幅に改善する

正解は③。著者Aの第4文(They show that ...)～第6文(This process of ...)「生徒は他の生徒とのやり取りを増やすほど、より効率的に学習することを示しています。これは、自分の考えや答えを他の人と比較することで、多くのことに気づくからです。このグループによる活動のプロセスにより、生徒は素早く知識を深め、批判的思考能力を身につけることができます」から、協働することで速やかに知識が身につけていることがわかる。同様に、著者Cの第5文(At first, I ...)と第6文(Soon after, I ...)「最初は、生徒たちがグループの仲間とわくわくしながら意見を共有し、確かに多くのことを

学んでいることに気づきました。その後まもなく、彼らの成績が以前よりも早く伸びていることにも気づきました」から、協働することで多くのことを学習し、より速く知識を身につけていると考えていることがわかる。したがって、正解は③。

①の「グループワークによって、授業中に教師が生徒のコミュニケーションスキルを高めることがより容易になる」については、著者Aの第1文(Teachers in training ...)「研修中の教師から、教室でのグループワークについて私はよく質問されます」でtrainingという語こそ出てくるが、「教師が生徒のコミュニケーションスキルを高める」等はまったく述べていない。同様に、著者Cもコミュニケーションスキルについては述べていないので不適。②、④については著者Aも著者Cも述べていないので不適。

問2 39 正解①

「著者Bは39」ということを示唆している

- ① 楽しさと人気は、授業で生徒がどのように活動するべきかを決める際に考慮すべき唯一の事柄ではない
- ② 生徒を1人で作業させることは、グループワークをさせるよりも有益だ
- ③ グループワークは、そのさまざまな利点から、個人作業よりもよい選択である
- ④ 授業の大部分をグループワークに費やすことに関して不利益はほとんどない

正解は①。著者Bの第2文(But just because ...)と第3文(Research shows that ...)「しかし、ある方法が楽しいからといって、それが唯一使用されるべき方法であるというわけではありません。研究によれば、生徒たちの学習方法は多様であり、教師はこれを反映するさまざまな活動や方法を持つ必要があります」から、生徒が楽しんでいる授業形式だけがよいということにはならないという著者の考えがわかる。したがって、正解は①。

②の「生徒を1人で作業させることは、グループワークをさせるよりも有益だ」は、著者Bはグループワークか個人作業かのどちらか一方に偏ることなく、そのバランスが大切だと述べているので不適。③の「グループワークは、そのさまざまな利点から、個人作業よりもよい選択である」、④の「授業の大部分をグループワークに費やすことに関して不利益はほとんどない」もグループワークと個人作業のバランスを欠いた指導形態になり、②と同じ理由から不適。

[ステップ2] 立場を決める

問3 40・41 正解②・④ 42 正解①

「さまざまな観点を読んだので、あなたは授業でどの程度グループワークを使用すべきかについての立場を決めた。あなたは以下にいくつかのメモを記した。40 - 42を完成させるのに最も適切な選択肢を選びなさい(40 - 42すべて正解で得点)」

あなたの立場：教師は、グループワークと個人作業とで、適切なバランスを保つべきである。

- ・ 著者40および41はあなたの立場を支持する。
- ・ この2人の著者の主要な論点：42。

40と41の選択肢(順序は問わない)

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は②と④。40・41には「あなた」の立場と合う主張をしている著者を選ぶ。あなたの立場は「教師は、グループワークと個人作業とで、適切なバランスを保つべきである」ということである。したがって正解は、解説冒頭の表に示したように、基本的立場としてグループワークと個人作業の両方に価値を見出している(=バランス)②Bと④Dである。

①の著者Aは第4文(They show that ...)～第6文(This process of ...)「生徒は他の生徒とのやり取りを増やすほど、より効率的に学習することを示しています。これは、自分の考えや答えを他の人と比較することで、多くのことに気づくからです。このグループによる活動のプロセスにより、生徒は素早く知識を深め、批判的思考能力を身につけることができます」から、グループワークによる指導を重視していることがわかるので不適。③の著者Cも第5文(At first, I ...)～第7文(This is why ...)「最初に、生徒たちがグループの仲間とわくわくしながら意見を共有し、確かに多くのことを学んでいることに気づきました。その後まもなく、彼らの成績が以前よりも早く伸びていることにも気づきました。これが今日、私が授業時間の大部分をグループワークに割り当てている理由です」から、グループワークによる指導を重視していることがわかるので不適。⑤の著者Eは第4文(It was a ...)「それは価値のある経験でした」および第6文(My daughter said ...)「娘は多くを学んだと言っていますが、結局ほとんどの作業を自分で行うことになり、娘にとってストレスになりました」のように、グループワークのプラスとマイナスの両面を挙げている。さらに第7文(In the future, ...)「今後、先生がグループプロジェクトのためにもっと時間を与えて、全員が貢献できるようにしてほしいと願っています」から、グループワークの改善を希望しているが、最後まで個人作業には言及していないため不適。

42の選択肢

- ① グループワークも個人作業も、より良い学習のため、そして良い学習態度を促すために重要である
- ② 個人作業はグループワークほど効率的ではないが、生徒が点数を上げるのに確かに役に立つ
- ③ 学習スタイルに関する多くの研究は、グループワークと個人作業のバランスを取ることが有益であると示唆している
- ④ 最良の学習方法は、生徒により異なる

正解は①。42には著者Bと著者Dに共通する主要な論点として適切なものを選ぶ。表の中の「主な主張」からわかるように、著者Bは第3文(Research shows that ...)で「研究によれば、生徒たちの学習方法は多様であり、教師はこれを反映するさまざまな活動や方法を持つ必要がある」ことを述べている。また、最終文(Relying on one ...)では「1つの方法に過度に依存することは、成績と学習態度の双方において悪影響を及ぼすでしょう」と述べており、この言葉から著者Bは、グループワークと個人作業を組み合わせることは、学習と行動の両方に良い影響を及ぼすと考えていることが読み取れる。そして著者Dは、第2文(Sometimes it can ...)と第3文(But when almost ...)で「(グループワークは)時には楽しく、友人から多くを学ぶことができます。しかしほぼ全ての授業でグループワークが行われると、グループの仲間の一部が課題に真剣に取り組みません」と述べて、グループワークが学習に良い影響を及ぼす一方で、学習態度には悪影響を及ぼすことを示唆している。そして第4文(On the other hand, ...)以降では、「他方、1人で課題に取り組むと、私はしばしば答えを見つけるのに大変苦労することがありますが、責任感が生まれます。ですからどちらの学習法もそれなりの利点と欠点があり、授業では両方を組み合わせるべきです」と述べて、個人作業が学習態度に良い影響を及ぼすことを指摘した上で、グループワークと個人作業の併用が望ましいと結んでいる。したがって2人の著者はいずれも、「グループワークも個人作業も、より良い学習のため、そして良い学習態度を促すために重要である」と考えていることがわかるので、①が正解となる。

②や④のようなことは、2人の著者の主張からは読み取れない。③は、著者Dの主張では触れられておらず、著者Bも「多くの研究」については言及していない。

[ステップ3] 資料AとBを利用して概要を作成する

あなたのエッセイの概要:

**グループワークと個人作業のバランスの必要性**

**序論**  
グループワークは有力な教室での教授法であり、全ての生徒がより効率良く学べるように、それを個人作業と併用するべきである。

**本論**  
理由1: [ステップ2から]  
理由2: [資料Aを根拠に] ..... **43**  
理由3: [資料Bを根拠に] ..... **44**

**結論**  
グループワークと個人作業に等しい授業時間を設けるべきである。

資料A

教育環境におけるグループ課題の利点は十分確立されている。これは主に、生徒自身がグループワークを楽しみと感じ、他の活動よりもそれを好む可能性さえあると示す多くの研究によるものである。しかし、生徒が実際にグループワークを個人作業よりも好むかどうかにはまだ議論の余地がある。というのも、これらの研究の結果はさまざまだからである。実際、グループワークを好むか好まないかは、さまざまな要因に左右される可能性が高い。例えば、生徒の性格、そして文化は、グループで活動することをどのように感じるかに影響を与えることがある。内気な生徒は自然に個人作業を好み、他の文化圏で暮らす生徒の一部は生徒同士の学習よりも講義ベースの学習により価値を置くかもしれない。好みはまた、グループ課題の質や教科にさえ大きく左右される。外国語の授業でグループワークを好む生徒が、数学に関しては個人で取り組む課題を好むかもしれないことを示す研究さえある。

資料B

インドネシアで行われた研究の結果は、一部の生徒はグループワークが最も公平な方法とは考えていないことを示している。この調査は、高校1年生と高校2年生からデータを収集した。下のグラフは、グループワークに関する特定の意見に賛成した生徒の割合を示している。

グループワークの公平性についての生徒の見解に関する調査結果	
全てのグループの仲間が作業に参加する。	48%
仲間内で作業を均等に分けることは容易である。	28%
グループを基にした成績は不公平である。	36%
一部の仲間は作業をせずにより成績を取る。	24%

問4 **43** 正解④

「資料Aに基づくと、理由2に最も適切なものはどれか」 **43**

- ① 生徒はグループワークよりも個人作業に興味を示すことが多いかもしれないが、教師は両方に等しく時間を割くべきである。
- ② 多くの文化では、コミュニケーションと協力が非常に重視されているため、グループワークは教室に理想的である。
- ③ 特に数学の授業においては、学校は個人作業への依存度を下げるべきである。
- ④ 多くの要素が関係しているため、好みに関する証拠を示すのは困難であるものの、生徒はグループワークを楽しんでいるように見える。

正解は④。空所には、グループワークと個人作業とのバランスを取るべき理由として適切なもので、かつ資料Aの中で述べられているものが入る。資料Aの第2文中 (the many studies ...) 「生徒自身がグループワークを楽しみと感じ、他の活動よりもそれを好む可能性がある」と示す多くの研究」への言及は、④の前半 (Students seem to enjoy group work) 「生徒はグループワークを楽しんでいるように見える」と一致する。また、資料Aの第3文 (However, whether or ...) ~第5文 (In fact, it ...) には「しかし、生徒が実際にグループワークを個人作業よりも好むかどうかにはまだ議論の余地がある。というのも、これらの研究の結果はさまざまだからである。実際、グループワークを好むか好まないかは、さまざまな要因に左右される可能性が高い」とあり、具体的には、第6文 (For example, student ...) ~第9文 (Some studies have ...) 「例えば、生徒の性格、そして文化は、グループで活動することをどのように感じるかに影響を与えることがある。内気な生徒は自然に個人作業を好み、他の文化圏で暮らす生徒の一部は生徒同士の学習よりも講義ベースの学習により価値を置くかもしれない。好みはまた、グループ課題の質や教科にさえ大きく左右される。外国語の授業でグループワークを好む生徒が、数学に関しては個人で取り組む課題を好むかもしれないことを示す研究さえある」から、④の後半 (providing evidence for ...) 「多くの要素が関係しているため、好みに関する証拠を示すのは困難である」と一致する。したがって、正解は④。

①の「生徒はグループワークよりも個人作業に興味を示すことが多い」は資料Aで述べられていないので不適。②の内容も資料Aでは述べられていないので不適。③のようなことも資料Aからは導き出せない。

問5 **44** 正解④

「あなたは理由3に『個人作業を完全に廃止するべきではない』と書くことにした。資料Bに基づくと、この意見を最もよく支持する選択肢はどれか」 **44**

- ① 36%の生徒がグループを基にした成績が公平ではないかもしれないと述べているが、半数を超える生徒はメンバー全員が作業に参加していると感じている。これは、一部の生徒が個人別の成績をより重視していることを示しているかもしれない。
- ② 全員が作業を手伝っていると報告した生徒は50%に満たず、4分の1を超える生徒が一部の仲間が値しないのにより成績を取ると言っている。これは、グループワークが不公平であることを意味している。
- ③ 多くの生徒がグループワークを難しいと感じている。実際に、作業を均等に分けることが容易だと言っている生徒は4人に1人に満たない。教師はそれをより公平にするために役割を割り当てるべきである。
- ④ ほぼ4人に1人の生徒が、一部のグループの仲間は高得点を取るに値しないと考えており、3分の1を少し上回る生徒がグループの成績を不公平だと感じている。したがって、一部の生徒は個人別の評価を受ける方を好むかもしれない。

正解は④。資料Bの内容と合っている選択肢を選ぶ。④の第1文 (Nearly one in ...) 「ほぼ4人に1人の生徒が、一部のグループの仲間は高得点を取るに値しないと考えており、

3分の1を少し上回る生徒がグループの成績を不公平だと感じている」は、資料Bの表の一番下「一部の仲間は作業をせずにより成績を取る — 24%」、上から3つ目「グループを基にした成績は不公平である — 36%」と合う。したがって、正解は④。

①は第1文後半 (over half feel ...) 「半数を超える生徒はメンバー全員が作業に参加していると感じている」が、表の一番上「全てのグループの仲間は作業に参加する — 48%」と合わないので不適。②は第1文後半 (over a quarter ...) 「4分の1を超える生徒が一部の仲間で値しないのにより成績を取ると言っている」が、表の一番下「一部の仲間は作業をせずにより成績を取る — 24%」と合わないので不適。③は第2文 (In fact, less ...) 「実際に、作業を均等に分けることが容易だと言っている生徒は4分の1に満たない」とあり、表の上から2つ目「仲間内で作業を均等に分けることは容易である — 28%」と合わない

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ work on ... 「…に取り組む」

◇ viewpoint 図「見解；観点」

◇ take a position 「立場を決める」

[ステップ1]

◇ interact with ... 「…と交流する」

◇ critical thinking 「批判的思考；クリティカルシンキング」

◇ it is true that ... but ~ 「なるほど…だが～」

◇ just because S' V' does not mean (that) S V 「単に S' V' するからといって S V するとい  
うことにはならない」

◇ balance ... with ~ 「…と…を両立させる」 ◇ over 図「…に優先して」

◇ in terms of ... 「…の点から」 ◇ academics 図「学業（成績）」

◇ definitely 図「確かに；疑いなく」 ◇ off-campus 図「校外で」

◇ complete 図「…を完成させる」 ◇ make a visit 「訪問する」

◇ end up -ing 「最終的に…することになる」

◇ contribute 図「貢献する」

[ステップ2]

◇ now that S' V', S V 「(今や) S' V' するから、S V する」

◇ make a note 「メモする」 ◇ argument 図「主張」

[ステップ3]

◇ setting 図「環境；状況」

◇ well established 「十分に確立した；しっかりと定着した」

◇ primarily 図「主に」 ◇ be up for debate 「議論になっている」

◇ varied 図「さまざまな」 ◇ conduct 図「…を実施する」

◇ fair 図「公平な」 ◇ deserve 図「…に値する；…して当然だ」

◇ challenging 図「困難な」